

第8回ごみと水を考える集い

(第8回 藤前干潟 伊勢・三河湾のごみと水を考える集い)

日時:2019年1月26日(土)午後1時~4時30分(受付午後0時30分)

場 所:藤前会館(案内図・裏面に掲載) TEL:052-301-3340

所在地:名古屋市港区藤前一丁目742

★記念講演

「漂着ゴミとマイクロプラスチック」

四日市大学環境情報学部

千葉 賢 教授 と 研究室の皆さん

社会問題となりつつある「マイクロプラスチック」について、伊勢湾の吉崎海岸はじめ多くの海浜でその実態が明らかになっています。その問題点や課題を報告して頂きます。

また、藤前干潟の消費期限のわからない古いペットボトルの実態調査結果もお話していただきます。

★特別報告

「2018年度ヨシ原調査報告」

中部大学応用生物学部上野研究室の皆さん

★報告と話題提供

「ヨシ原が流出阻止したペットボトル」

ペットボトルごみの一掃と奈佐の浜プロジェクト委員会の取組
実行委員会事務局

★分散会で発表と交流

☆ 全て参加団体が活動報告

☆ そして交流と話し合い:

『ペットボトルなどの化石燃料由来漂着ごみをなくすには何をしたらいいのか?』を話し合います。

<呼びかけ団体>

☆土岐川・庄内川源流の森委員会 ☆藤前干潟クリーン大作戦実行委員会 ☆四日市ウミガメ保存会 ☆22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 ☆NPO土岐川・庄内川サポートセンター (以上5団体)

<問い合わせ・事務局>

☆鈴木康平(藤前干潟クリーン大作戦実行委員会)

電話 090-8421-1037

FAX 0568-52-0267

Mail: suzuki.1@re.commufa.jp

http://cleanupfujimae.jimdo.com/

2012年1月に「第1回ゴミと水を考える集い」を開催し、7項目アピールを採択し、みんなで漂着ごみゼロ社会をめざすとともに「答志島にゴミ拾いに行こう」と確認しました。このことを契機に「22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会」が結成され、その後の7年間で8回の奈佐の浜清掃活動と6回のエクスカージョン活動を積み重ねています。

今年、12月1日2日、北海道で開催された「第11回いい川・いい川づくりワークショップ」で22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会の活動「豊かな海を取り戻すため、100年後の奈佐の浜の漂着ごみゼロに！」が準グランプリ『「100年後、漂着ごみゼロ」活動は、世界の漂着ごみゼロ目標の達成につながるでしょう』を受賞しました。愛知、岐阜、三重の県境を超えて、伊勢湾流域一帯の海、川、山をフィールドにした活動が評価されたものと思います。

奈佐の浜プロジェクトの活動に参加する団体は、漂着ごみゼロのためには、自らのフィールドでの活動の大切さと、流域一体の清掃活動と啓発活動、ネットワークが大切なことを再認識しています。

「第8回ごみと水を考える集い」を下記のとおり開催します。伊勢・三河湾、藤前干潟につながる流域で活動いただいている皆さまに参加を呼びかけます。是非、ご参加下さい。



18秋の藤前干潟クリーン大作戦で拾いきれなかった新川左岸堤



12月15日の藤前干潟ペットボトル一掃大作戦できれいになった新川左岸堤
2018/12/15

ごみが生まれない社会創りをめざす7項目アピール 私たちは、呼びかけます。

- 子どもたちが安心して元気に遊べる水辺を取り戻しましょう。
 - たくさんの生きものたちが生息する場を取り戻しましょう。
 - ごみを見つけたら勇気を出して拾いましょう。
 - ごみを捨てない大人と子どもをはぐくみましょう。
 - ごみが生まれない社会を創りましょう。
 - 山、川、里、海それぞれで活動する人どうしの繋がりをつくりましょう。
 - 流域全体で人と自然が共生する環境を創りましょう。
- (「第1回～第7回のごみと水を考える集い」で採択しました。)

会場案内図

マイクロバス利用 あおなみ線名古屋競馬場前からマイクロバスを運行します。
事務局まで申し込みの上ご利用願います。
名古屋競馬場前駅西側の道路から、**午後12時05分** 発車します。
途中で、庄内川・新川中堤の漂着ごみの実態を視察します。

三重交通バス利用 ★ **名鉄バスセンター3F(名古屋駅)午前11時発**・三重交通バス:サンビーチ日光川行き(尾頭橋・日比野六番町経由)「南陽町藤前」下車、徒歩5分、乗車料金220円
★ **名鉄バスセンター3F(名古屋駅)午前12時25分発**・三重交通バス: →サンビーチ日光川行き(イオンモール名古屋茶屋経由)「藤前五丁目」下車徒歩8分、乗車料金400円(高速利用のため)



※ 本取り組みは、公益財団法人河川財団
(河川基金)の助成を受けて開催します。

